

## 感動の輪を広げる トイレ清掃体験事業

長崎県 二瓶<sup>にへい</sup>芳信<sup>よしのぶ</sup>



湧き上がる感動を押しさえることができなかった。

2020年、佐世保明るい社会づくり運動推進協議会(明社協)が、トイレ清掃大会を5年ぶりに開催したときのことである。私が明社協事務局員となって2

年目の、初の取り組みであった。

明社協のトイレ清掃体験事業は、2002年に佐世保市制百周年記念協賛事業として開催されたことに始まる。鍵山先生の講演も行われ、市内3校のトイレ清掃体験に千五百名を超える人が参加した。以来市内11校で開催してきたが、いつしか佐世保掃除に学ぶ会も活動を休止されており、この年は九州全域からの応援により開催された。

私はトイレ清掃体験の意義を知らずにいたが、資料を読み準備を進めるにつれて、当協議会の「豊かな社会づくりに貢献する」という理念に一致することを理解した。そしてこれをどのように体験校の皆さんに伝えるかと悩み始めた。しかし始めてすぐ、それは

杞憂に過ぎないとわかった。

生徒は、明るく熱心に便器を磨いている。感想文には、「達成感を得ることができた」「人のためになることは楽しいと実感した」などとあり、トイレ清掃を実践することにより、「自分の心を磨く」という学びが、自ずとできていたのである。

言って聞かせるより、実践することが何より大切であると思われ知らされた。九州ブロックの皆様のおかげで、トイレ清掃にかかる情熱の根源も理解できた。当協議会は今後もこの事業を続け、感動の輪を広げ、ひいては平和で明るい生きた社会づくりを推進したいと考えている。

(857-0053 長崎県佐世保市常盤町6-1 まちなかコミュニティセンター内 佐世保明社協)

## 挨拶ってこころよい

東京都

惟住 これずみ

浩太郎 こうたろう



人間関係の基本は「挨拶」と、子どもの頃からいわれてきました。が、大人になってもできていないか、と聞かれると、自信はありません。

掃除を始めて大切な気づきは「挨拶」でした。掃除をしながら

「おはようございます」、ときには「おはようございます、ご苦労さま」と声をかけてくださったときは、胸の奥から温かいものが込み上げてきて、幸せな気持ちになります。

ホテル勤務の高野登氏著書『絆がうまれる瞬間』に、「挨拶」は禅宗の問答のさいに、相手の悟りの深浅を試す「一挨拶（いちあい いっさつ）」に由来するとありました。「挨拶」は訓読みで、「くる」とも読むそうです。自分の心を開いて相手の心にせまるのが、「挨拶」という意味かと思えます。

路上で見知らぬ人に挨拶することには勇気が要ります。あやしい人と思われるかもしれません。しかし、掃除をしているときは、路上ですれちがう人と自然に挨拶を

交わせます。奇跡の瞬間です。

「挨拶」は、その人の人生を変えてしまうほどの力がある、と聞いたことがあります。ある芸人の青年が、演出家の「才能がないから辞めさせよう」という指摘で、浅草東洋劇場から追い出されそうになったときのこと。「彼の挨拶はこころよい。辞めさせないで！」と、青年をかばう声が上がると、彼の首はつながったということです。彼とは、後のスーパーコメディアン萩本欽一です。

「挨拶」は、その人の人生を変えてしまうというのも、おおげさではないかもしれません。これから掃除を通じて、このような「気づき」を楽しんでいきたいと思えます。

## トイレ掃除に感謝

山梨県

大村 おおむら

義之 よしゆき



掃除は主婦がするものと思っていた私ですが、倫理法人会の講師に、トイレ掃除をすると会社が繁栄すると聞いて、「本当か?」と思いました。頭に浮かんだ、近所の神社に出かけると、男子トイレが大変なことになっていました。見ると、物入れに掃除用具が

あるではありませんか。これは掃除しなさいということだと思いい、便器に向かいました。

あっちこっちの糞は、固まっていてなかなか取れません。何度も何度もこすっていると、だんだん小さくなり、最後に糞の点が消えた時、すごいことが起こりました。それは、自分の心が便器と同じようにきれいになり、すがすがしい最高の気分になったことです。

トイレ掃除ってすごいな—と  
思って、倫理法人会で報告したところ、会員から掃除に学ぶ会のことを聞きました。早速「山梨掃除に学ぶ会」を訪ねました。

代表の清水徹さんから、トイレ掃除の会場を探すように頼まれました。知り合いの学園に頼み、準備を進めました。

初めての正式なトイレ掃除には、驚くことばかりでした。道具をなんときれいに並べるのです。

「段取り八分」は、大切だと学びました。そして次が、一つの便器に2時間向かい合う信じがたい体験でした。茶色い尿石がきれいに落ち、元の便器の色に戻る。片付けも一つひとつきれいに、すごい学びばかりでした。

これをきっかけに、私はトイレ掃除のとりこになりました。

地元の神社は10年間月2度、商工会の公園は13年間毎月掃除をし、掃除の会にもできるだけ参加しています。

掃除により、日常生活で汚れた心を磨かせていただいて、とても感謝しています。

(407 0043 山梨県韮崎市神山町鍋山173)

# 「ブラジル掃除に学ぶ会」 誕生の旅

大阪府

上野うえの  
起立おきたつ

「二瞬の出会いで人生が変わる、ひとつの言葉で運命が変わる」

第1回「ブラジル掃除に学ぶ会」の旅は、私の人生の宝物です。

1994年5月、それまで海外に出たことのない私が、ある研修旅行でブラジルへ行きました。日本の裏側の遠い地で文化・風習・経済・国情の違いがある中、一所懸命真摯に活動されている同朋の体験話に感涙、感動し、いかにわが身が恵まれているかと痛感しました。

このブラジルの同朋に喜んでもらいたいと、居ても立っても居

られず、『凡事徹底』他、若干の小冊子を現地の飯島秀昭社長に届けました。飯島社長は掃除に大変興味をもたれ、文通が頻繁になりました。

ちょうど大阪で「掃除に学ぶ会」の立ち上げを議論していたころの1995年1月17日、阪神淡路大震災が起きました。

そこで同年3月、第1回「大阪掃除に学ぶ会」を被災地の西宮市立香櫨園小学校で開催することにしました。

飯島社長にお声をかけたところ、早速3名の方と来日され、初めてのトイレ掃除を体験されたのです。飯島社長はいたく感動され、その感激を鍵山相談役に話され、ブラジルでも「掃除に学ぶ会」を立ち上げることとなり

ました。私はお世話役を仰せつかり、多くの方にご支援をいただきました。本当にありがたいことでした。

1996年2月、日本から総勢19名がブラジルに飛び立ちました。鍵山相談役は、片道24時間往復エコノミークラス席で、立腰不動でした。

空港でのお迎えは、まるで旧知の友との再会の如く、涙、涙の大感激の幕開けでした。相談役は、世界三大名瀑イグアスの滝でもゴミを拾っておられました。

「良いことは人に伝えよう。人の喜びをわが喜びに」、この旅をきっかけに私は生き方を変えようと思いました。

(573 134 大阪府枚方市養父丘1-2-28)

# 「てんびんの詩」を心として

滋賀県

木谷 きたに

昭郎 あきお



2010年から、鍵山相談役が関西にお越しになるときの「カバン持ち」で学んだことです。

まず会議や講演会には、開始

の30分以上前に到着されます。新幹線の改札口にお迎えにあげると、いつも先に着かれています。改札口で人様の通行を邪魔しないよう諭されたこともありました。私はそれ以来、約束の時間30分前到着と人との距離を保つよう気をつけています。

「掃除に学ぶ会」でも早く着かれます。開会式まで、草取りや会場の下見をされます。駐車場では、ご自身の車は一番奥に停められます。懇親会では、食事に手をつけず、挨拶に来られる方のお話を真剣に聞かれます。

彦根での関西ブロック大会でのご講演のときです。壇上でホワイトボードを担当していた私は、せっかしくお書きになった言葉をすぐ消してしまい、振り返られ

たときには文字がなくお困りになったという失敗をしました。

鍵山相談役は、いつも「相手に喜んでもらう」よう気を配っておられます。これは1988年、(株)ローヤル時代の決して経営が楽でないときに相談役が制作された、映画「てんびんの詩」のテーマだと伺いました。

時代を超え、学校や企業でも使われているロングセラーです。「てんびんの詩」の心は、後世に伝えたい相談役の心だと思えます。私も近江商人のひとりとして、格別の思い入れがあります。

鍵山相談役に出逢い、掃除に学んで27年、私も78歳になりました。これからも皆さまに喜んでいただけるよう励みます。

(525.0025 滋賀県草津市西渋川1-1-5)

## 次の人のために整える道

茨城県

小倉おくら

和良かずよし

私がお掃除を始めたのは、鶏育成工場に管理者として勤務していたときのことです。

1997年、頼経健治様からご紹介いただき、当時五反田にあったイエローハット本社を訪れました。トイレ掃除・排水溝掃除のお話と実践を体験して、これが私の求めていた生き方だと納得しました。

それは、「次の人が歩きやすいように、自分のできることをやる」ということです。以来、掃除を四半世紀続けております。

掃除を通して色々なことを学ば

せてもらいました。まず便器や部屋を徹底的にきれいにすること、そしてリーダーの指示に従うということですよ。

リーダーから命令口調で言われて、カチンと反発心が起きたこともありました。しかしそれも、私には必要なことであった、自磨きであったと、あとになって理解できました。

次にリーダーとなり、班全体に目配りをする体験をし、自身の考え方ややり方を班全体に統一させる難しさや、年上メンバーさんへの言葉使いや指導法を学びました。さらに、道具の整備、会場探しや人数の確認、会場の便器数の確認など、いろいろな仕事をさせてもらいました。

今では、メンバーがどのような

方か分からなくても話はできま  
すし、話をしなくても良いように  
自在になりました。

また掃除を通して多くの知人が  
でき、職種役職での考え方や対応  
など、自分では気付かなかったこ  
とに気付かせてもらい、それを自  
分の職場に取り入れて業績が良  
くなったこともありました。

人は、他人の実像がわかったと  
きから協力をしてくれます。そ  
れまで、辛抱して頑張り抜く覚  
悟が必要です。掃除は、そのよう  
なことを学ばせてくれる力があ  
ります。

今後も次世代の方々が歩みや  
すいように、できるだけ協力し続  
けて参ります。皆様、お掃除を元  
気に続けて参りましょう。

(310 0106 茨城県小美玉市堅倉1-2)

## お掃除と生きたい

京都府

前田 まえだ

佳織 かおり



「いつも、どこかで、誰かに、助けてもらって生きてる」と感じられるようになったのは、お掃除を始めてからです。私はずっと、「私が

頑張って生きてる」と思っていました。3人の母となり、ちゃんときない自分を、めっちゃ足りないところを、お掃除に教えていただきました。本当に感謝しています。

京都には、月例会と新洗組という街頭清掃があります。新洗組（写真は、学生さんに隊長になってもらい、進めています。若い人が素晴らしいことに気付かされました。こんな素敵なたちと出会うことができ、一生のご縁にしたいと思う若者がドンドン増えて、すつごくしあわせです。彼らと一緒に活動ができることに、毎週しあわせを感じています。

時々、就職で東京に行ったり、結婚で京都を離れた子たちが帰ってきて、手土産を片手に、「こ

んなふうに帰ってくる場所があった良かったです」と、なんともううれしそうに語ってくれはる。そんなとき思う、「ここはいつ来ても変わらへんねんなあ、と思ってもらえるように、続けていたい」。

私も、今58歳。福井三千子さんの歳まであと25年、まだまだ頑張れそうです。大先輩に助けられて、若いかわいいう後輩に助けられて、今があります。こんな素敵なお縁は、お掃除をしていなければならできていないです。

だから私はお掃除と生きたい。

2007年、京都の全国大会の後、鍵山相談役と京都グランヴィアホテルのラウンジで、いちこのショートケーキを食べた日からはじまりました。まだまだ続けます。

(615 8142 京都府京都市西京区樫原畔ノ海道1-28)

# 確かな道筋を 示していただいた

東京都

たけはな  
竹花 豊  
ゆたか



2001年晩秋。「トイレ掃除で  
暴走族の立ち直りを」という中国  
新聞の記事を目にした。

当時広島県警本部長で、暴走族  
の離脱サポート活動を推進してい  
たので、「どういうことか」と担当  
者から話を聞いた。これが、私が  
鍵山秀三郎さんを知ったきっかけ  
である。

鍵山さんは、広島の暴走族立ち  
直りに地元の掃除に学ぶ会の方々  
とともに、その2年前から心を砕い  
ておられた。鍵山さんと面談して、  
思いがけない提案をいただいた。

北海道で荒れる中学生の立ち  
直りをもたらした、「南中ソーラ  
ン踊り」を、暴走族に教えてはど  
うかということだった。欠野アズ  
紗女史が大阪から駆け付け、暴走  
族の女子を中心に、心ある大人の  
息吹を伝え始めたのである。

広島の暴走族対策はそのよう  
な取り組みがいくつも重なり、大き  
な流れが作り出され、一気に解決  
に至ったことは、広く知られると  
ころとなった。

鍵山さんに感謝するのは、これ  
だけでない。その後私が東京都副  
知事として、首都の治安回復の責

任を負い、四苦八苦していたとき  
の鍵山さんのご支援はありがたい  
ものだった。

汚く荒れた街の象徴新宿歌舞  
伎町を立て直すきっかけを作っ  
てくださったのである。毎月一度早  
朝、歌舞伎町清掃をはじめたこと  
が、人々に勇気を与えた。この取  
組みがあればほど大きな動きを作  
り出すとは、さすがの鍵山さんも  
考えておられなかっただろう。現  
在も続く歌舞伎町街頭清掃は、日  
本を美しくする会の活動の柱の一  
つとなっている。

ひよんな出会いが、私の一生に  
確かな道筋を示してくれた。「ひ  
とつ拾えば、ひとつだけきれいに  
なる」結果を追い求めず、無心  
に続ける活動はいつか社会を変え  
ていくと、信じている。